

編集・発行 市民ネットワークみはま  
 ◎事務所  
 千葉市美浜区高洲3丁目20-45 細矢ビル403号室  
 TEL/FAX 043-278-5005  
 E-mail mihama@chibanet.jp  
 配布地域 美浜区 配布部数: 25000部



## 県の土地は県のもの？

市民ネットワークでは毎年千葉市と千葉県へ「予算要望及び政策提案」を提出しています。県への要望は美浜区から初めて県議を送り出した1999年以来継続しています。政令指定都市だから県に要望することもないのでは？と思われるかもしれませんが、千葉市の中でも美浜区はその成り立ちからも県と深い関係を持っています。

県が管理している幕張の浜、県が開発した打瀬の街、各県立高校、千葉市立の小中学校でも土地は県有地も多く、子どもの数が減って学校の統合が行われると、そこが県有地であると県に返還することになります。

また旧企業庁事務所跡地や旧真砂コミュニティセンター跡地のようになされた建物が、そのまま残されています。千葉市の土地であれば旧真砂第一小学校のようにコミュニティセンターとして活用するなど千葉市の判断で利用することができます。



閉鎖され手付かずの旧真砂コミュニティセンター



撤去後ベンチだけが残った検見川の浜のあずまや跡

美浜区では高齢化が進んでいますが、他の区に比べて高齢者の入所施設などが少ない状況です。地価が高く民間の事業者が土地を購入して施設を建設することが難しいことがあります。現在若葉住宅地区(ベイパーク)に建設中の有料老人ホームのように超高級なものしか建たないのでは、一般の市民は安心して老後を迎えることができません。元々未利用地が少ない美浜区で、用途が決まっていない県の土地の行方には関心を持たざるを得ません。

今回県の企業局に聞き取りを行った土地は4か所

- 1, 検見川地区サービスセンタービル(旧真砂コミュニティセンター)
- 2, 旧磯辺第一小跡地
- 3, 打瀬中学校グラウンド隣の空き地
- 4, 検見川陸橋脇の旧企業庁事務所跡地

貴重な私たちの共有財産であるこれらの土地ですが、県は明確な方針を持たず、検討はこれから、スケジュールは未定などの回答が多く、4の企業庁事務所跡などは取り壊してから跡地利用を決めるが解体設計が入札不調・・・などの回答で、ずいぶんのんびりしています。貴重な土地ですから県市が十分連携し、市民参加でその利用について考えていく仕組みづくりが必要ではないでしょうか。

10月17日にちょうど熊谷知事との懇談に参加したため、具体的な場所も含め直接知事にお話しすることができました。知事は、県の土地については有効活用を進めていく基本姿勢だが、当該の土地については調査のうえ、千葉市の神谷市長などとも意見交換し、地域の自治会など、周辺住民にも丁寧に説明しながら、活用を進めていきたい、と述べました。

岩橋(磯辺)



## みはま 大人の学校 2023年 7月27日報告 残された人が困らない終活

美浜区在住の藤代真夫さんを講師に迎え、ご家族を看取った経験からのお話を聞きました。

終活のポイントは、個人の生き方や家族構成など様々であることから、自分らしい終活を具体的にしていくこと。

- ◎相続(家族関係を予め明確化し、自分の意志を明確にすること)
  - ◎物(相続人の思い出を含む重要なものの選別)
  - ◎残されたものの気持ち(葬儀、法事は残された者の気持ちにけじめをつける)
- 「終活は残されたものの迷いを減らし、物理的負担を減らすと共に私の意志を引き継いでもらうための遺言」という藤代さんの言葉が心に残りました。長澤(花見川区)(参加された方の感想)

藤代さん個人の体験談を真摯に語ってくださり、興味深く聞きました。終活の2回目があれば「相続手続き」の具体的な話が聞きたいです。

市議会議員  
黒澤和泉が  
議会のあれこれ  
お話しします

次回予告

## 植物を使ったセラピー & 議会報告

日時: 11月13日(月) 10時~12時

会場: 高洲コミュニティセンター講習室

- 1 時間目 植物を使ったセラピー  
山口敬子さん(植物ケアデザイナー)
- 2 時間目 黒澤和泉議会報告会



イメージ

お花が2.3輪入る瓶や缶を1つ持ってきてください

お申込みは みはまネット事務所まで 043-278-5005

## 読みカフェ 参加者募集中!

毎月第4水曜日 14時~15時半

詩・絵本など 声を出して読んでいます。  
感情入れて読んでいき、お芝居っぽくなることも  
声をだすって気持ちいい! 参加費200円

体験参加もできます

## 戦争の話聞かせてください

地域から平和をつくるために、体験談を聞き取りしています。  
お話をさせていただける方を募集しています。ご連絡ください。

打瀬在住 1937年(昭和12年) 生まれ 男性

昭和19年4月、羽田飛行場近くの小学校に入学。飛行場を狙って空襲が頻発した。流れ弾が目の前で梅の木を直撃した。夜の空襲警報では、庭の防空壕で恐怖に震えていた。

昭和20年3月10日、B29爆撃機の編隊が自宅上空を通った。機体下部に焼夷弾が見え、直後、北東の空が真っ赤になった。東京大空襲だった。自宅も危ないと、茨城県の祖父母宅へ疎開した。ここも空襲があり、駅舎の壁は穴だらけだった。艦載機が目の前で旋回し、メガネをかけたパイロットの顔が見えた。

8月15日、玉音放送は庄屋宅の庭に集まって聞いた。大人がうつ伏せで泣いていた。戦争が終わったと感じた。

ウクライナでは子どもが辛い状況にある。戦争は体験するものではない。  
聞き手 松井(打瀬)

8月24日にみはまネットにお電話くださった女性の方へ 折り返しの電話がつかがりません。  
みはまネットにもう一度お電話ください。ご連絡お待ちしております。

16

## まちかど保健室

心をつなぐ優しい街づくり

毎月10日

10:30~16:00(土日祝も含む)

誰かとおしゃべりしたい  
市政についての相談をしたい  
暮らしのお困りごと聞いてもらいたい  
---お待ちしております---

12月のまちかど保健室は... 12月10日(日) 14:00~15:00

### 「パンを食べながら、児童相談所の話しよう」

みはまネット毎月行っている「児童相談所にパンを届けるプロジェクト(パンPJ)」は、多くの方の寄付で継続しています。子どもたちと同じパンを食べながら児童相談所について話をしましょう。(パン代100円程度)

## 市民ネットワークちば公式LINE始めました



市議会傍聴や千葉市の情報、市民ネットの各区のイベント情報、黒澤和泉のFacebookなどを月2.3回配信します。  
登録は簡単! QRコードを読み取ってください。